

発行日 2023年11月16日 (第3版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アルトリセット 400SC 匠
A-Number	A21550L
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
緊急連絡電話番号	日本中毒情報センター 中毒110番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪(365日・24時間): 072-727-2499 つくば(365日・9-21時): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(1件につき2000円): 大阪(365日・24時間): 072-726-9923 つくば(365日・24時間): 029-851-9999
推奨用途	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
健康有害性	
皮膚感作性	区分1
生殖毒性	区分2
環境有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H361 生殖能への悪影響のおそれの疑い
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き: 安全対策
 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置
 P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
 P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P391 漏出物を回収すること。

保管
 P405 施錠して保管すること。

廃棄
 P501 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性 知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 成分:

化学名	CAS No.	含有量 (%)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
イソシクロセラム	2061933-85-3	≥ 30 - < 40	
プロピレングリコール	57-55-6	≥ 1 - < 10	2-234

4. 応急措置

一般的アドバイス 緊急連絡先や医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。

吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水で洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分間以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診察／手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。無理に吐かせない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	特定されていない。 既知または予想される症状はない。
医師に対する特別な注意事項	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、噴霧放水 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性の有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。 水を噴霧して密閉容器を冷却する。
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。 粉じんの発生を避ける。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。 河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関係当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	漏出物を封じ込め、不燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、パーミキュライト等)を使用して集め、地域/国の規制に従って廃棄するために容器に回収する(「13.廃棄上の注意」を参照)。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取り扱い注意事項 火災に対する特別な対策は必要ない。
皮膚や眼への接触を避ける。
使用中は飲食及び喫煙をしない。
個人保護については項目 8 を参照する。

接触回避 知見なし。

保管

安全な保管条件 特別な保管条件は必要ない。
乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器を密閉して保管する。
子供の手の届かないところに保管する。
食物、飲み物、飼料からは遠ざける。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標(ばく露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
イソシクロセラム	2061933-85-3	TWA	0.4 mg/m3	Syngenta

設備対策

ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる。
保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる空気濃度を職業ばく露基準以下に保つ。
必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求めること

保護具

呼吸用保護具

労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定呼吸器を使用すること。
適切な呼吸用保護具
ハーフ顔面マスク付きの呼吸器 マスク用のフィルターのクラスは、物質を扱っているときに発生する可能性のある最高予測汚染物質濃度(ガス/蒸気/エアゾール/粒子)に適したものでなければならない

手の保護具

材質 ニトリルゴム
破過時間 > 480 min
手袋の厚さ 0.5 mm
備考

保護手袋を着用すること。適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。破過時間は、素材の特徴の中でも、手袋の厚さと種類によって決定されるので、その時々測定されなければならない。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

特別な保護具は必要ない。
適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。

保護対策	汚染された衣服は洗浄してから再使用する。 必要に応じて着用:不浸透性保護衣 個人用保護具よりも、設備対策を優先する。 個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求めること
------	---

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	懸濁液
色	白色
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
融点／範囲	データなし
沸点／沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	データなし
爆発範囲上限／可燃上限値	データなし
爆発範囲下限／可燃下限値	データなし
引火点	方法: セタ密閉式引火点試験 引火しない。
分解温度	データなし
pH	5.4 試験濃度: 100 %w/v
蒸発速度	データなし
自然発火温度	440°C
粘度(動粘度)	データなし
溶解度	
水溶性	データなし
溶媒に対するよう改正	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び又は相対密度	1.15g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	データなし
爆発特性	非爆発性
酸化特性	本製品は酸化特性物としては分類されない
粒子特性(粒子サイズ)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものはない
化学的安定性	通常の状態では安定

危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の 情報	飲み込んだ場合 吸入 皮膚接触 眼に入った場合
--------------------	--------------------------------------

急性毒性

入手可能なデータによれば区分外となる

製品

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.18 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト アセスメント: 成分/混合物の急性の吸入毒性は低い。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

成分

イソシクロセラム

急性毒性(経口)	LD50(ラット、メス)> 4,569mg/L
急性毒性(吸入)	LC50(ラット、オス及びメス)> 4.62mg/L ばく露時間: 4h 試験環境: 粉じん/ミスト アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。 備考: 調整可能な最高濃度
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オス及びメス): > 5,000 mg/kg アセスメント: この物質または混合物は急性の経皮毒性は無い。

皮膚腐食性/皮膚刺激性

製品

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし

成分

イソシクロセラム

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品

種 ウサギ
結果 眼への刺激なし

成分

イソシクロセラム

種 ウサギ
結果 眼への刺激なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品

試験タイプ 局所リンパ節増殖試験(LLNA)

種 マウス

結果 皮膚に触れると感作を起すことがある。

成分

イソシクロセラム

試験タイプ マウスリンパ腫細胞

種 マウス

結果 製品は皮膚感作性である、細区分1B。

生殖細胞変異原性

成分

イソシクロセラム

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。

発がん性

成分

イソシクロセラム

発がん性 - アセスメント 動物検査において発ガン性の証拠は無い。

生殖毒性

成分

イソシクロセラム

生殖毒性 - アセスメント 動物実験によると性的機能および繁殖力への悪影響があることが一部立証されている。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

成分

イソシクロセラム

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品

魚毒性

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l
ばく露時間: 96 h

藻類／水生生物に対する毒性	ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 100 mg/l ばく露時間: 96 h EC10 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 100 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 96 h 最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 10 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 96 h
成分	
イソシクロセラム	
魚毒性	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.13 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.52 mg/l ばく露時間: 48 h EC50 (Americamysis (アメリカミシス)): 0.000031 mg/l ばく露時間: 48 h EC50 (Chironomus riparius (ユスリカ幼生)): 0.000015 mg/l ばく露時間: 48 h
藻類／水生生物に対する毒性	ErC50 (Skeletonema costatum(海洋珪藻)): 0.27 mg/l ばく露時間: 72 h EC10 (Skeletonema costatum(海洋珪藻)): 0.14 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h 最大無影響濃度 (Skeletonema costatum(海洋珪藻)): 0.044 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h
M-ファクター (水生環境有害性 短期(急性))	10,000
魚毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノー)): 0.0081 mg/l ばく露時間: 32 d 試験タイプ: 初期生活段階
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Americamysis (アメリカミシス)): 0.000001 mg/l ばく露時間: 28 d
M-ファクター (水生環境有害性 長期(慢性))	100,000
微生物に対する毒性	EC50 (活性汚泥) >1,000 mg/l ばく露時間: 3h
残留性・分解性	
成分	
イソシクロセラム	
生分解性	結果: 易分解性ではない
水中での安定性	備考: 製品は持続性ではない
生体蓄積性	
成分	
イソシクロセラム	
生体蓄積性	備考: 生体蓄積がある
n-オクタノール／水分配係数	log Pow: 4.9 (20 ° C)

(log 値)

土壤中の移動性

成分

イソシクロセラム

環境中の分布

土中での安定性

備考: 移動しない
 消失時間: 112.94 d
 消失割合: 50 (DT50)
 備考: 製品は持続性ではない
 非該当

オゾン層への有害性

他の有害影響

成分:

イソシクロセラム

PBT および vPvB の評価結果

当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物

薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
 廃棄物を下水へ排出してはならない。
 可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用の方が好ましい。
 リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。

汚染容器及び包装

残りの内容物を空にすること。
 容器は3回すすぐ。
 空容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
 空容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 (UN number)

UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping name)

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (ISOCYCLOSERAM)

国連分類 (Class)

9

容器等級 (Packing group)

III

ラベル (Labels)

9

航空輸送(IATA-DGR)

国連番号 (UN number)

UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping name)

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (ISOCYCLOSERAM)

国連分類 (Class)

9

容器等級 (Packing group)

III

ラベル (Labels)

Miscellaneous

梱包指示(貨物機) (Pack-ing instruction (cargo air-craft)) 964
 梱包指示(旅客機) (Pack-ing instruction (passenger aircraft)) 964
 環境有害性 該当
 海上輸送(IMDG-Code)
 国連番号 (UN number) UN 3082
 国連輸送名 (Proper shipping name) ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (ISOCYCLOSERAM)
 国連分類 (Class) 9
 容器等級 (Packing group) III
 ラベル (Labels) 9
 EmS コード (EmS Code) F-A, S-F
 海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant) 該当
 MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)
 供給された状態の製品には非該当
 国内規制
 特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照
 特別の安全対策
 ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
プロピレングリコール	106

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (施行令別表第9)

化学名	含有量	備考
プロピレングリコール	>=1 - <10	2025年4月1日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (施行令第18条)

化学名	含有量	備考
プロピレングリコール	>=1 - <10	2025年4月1日以降

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023年3月31日まで

非該当

2023年4月1日から

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2,3条危険物告示別

表第1: 有害性物質

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 有害液体物質には該当しない

個品輸送 海洋汚染物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が

網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

その他の略語の全文

ACGIH

ACGIH BEI

安衛法(管理濃度)

日本産業衛生学会(許容濃度)

ACGIH / TWA

安衛法(管理濃度) / ACL

日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-M

米国。ACGIH限界閾値(TLV)

ACGIH - 生物学的ばく露指標(BEI)

作業環境評価基準、健康障害防止指針

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度

8時間、時間加重平均

管理濃度、基準濃度

許容濃度